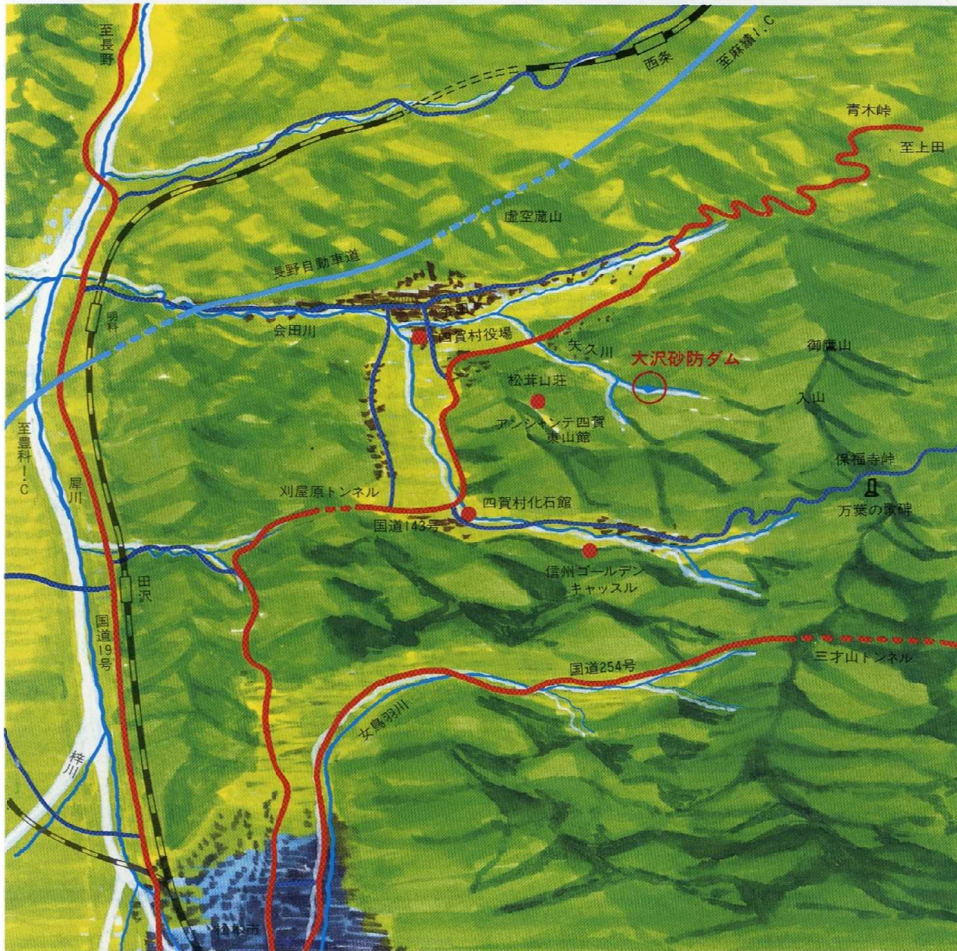


## ダム位置図

S = 1/200,000



今、日本の屋根信州から  
新砂防の発進を

# 大沢砂防ダム



1992年

長野県犀川砂防事務所  
四賀村

# ダムの諸元

1. 河川名 信濃川水系犀川右支会田川小支矢久川
2. ダムの位置 長野県東筑摩郡四賀村大字中川字大沢
3. ダム計画の諸元

流域面積	3.2km <sup>2</sup>	最大洪水量	48.0m <sup>3</sup> /S
最大時間雨量	42.0mm/hr	現在河床勾配	1/9
流出係数	0.8	計画堆砂量	149.180m <sup>3</sup>
土砂混入率	20%	有効貯水量	63.380m <sup>3</sup>
比流率	15.0m <sup>3</sup> /S/km <sup>2</sup>	灌水面積	8940m <sup>2</sup>

## 4. ダムの概要

- (1) 型式 コンクリート重力式 (法率 1:0.2、1:0.74)
- (2) 主要部寸法

工種各部	本堤	副堤	垂直壁	第1.第2水甲工	摘要
堤長	104.0m	50.0m	30.0m		
堤高	25.0m	6.5m	3.0m		
天端巾	3.0m	2.0m	1.6m		
堤底巾	26.5m	6.36m	2.20m		
立積	23991.5m <sup>3</sup>	1267.6m <sup>3</sup>	285.9m <sup>3</sup>	1076.4m <sup>3</sup>	$\Sigma V = 26621.4m^3$

## 5. 事業費 1,212,000千円

## 6. 事業効果

耕地安定	がんがい面積	人家	道路	橋梁
30.0ha	50.0ha	83戸	国道 300m 林道 2200m	5

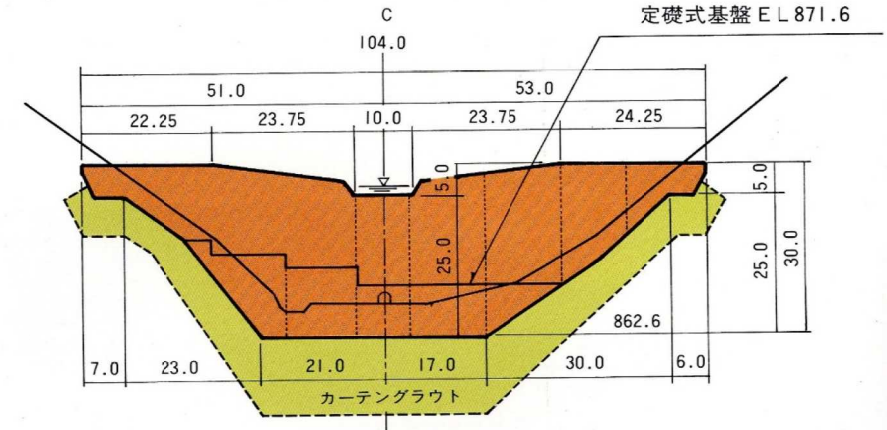
## 7. 施行期間

調査 昭和60年～昭和61年 建設 昭和62年9月～平成4年3月

# ダム計画図

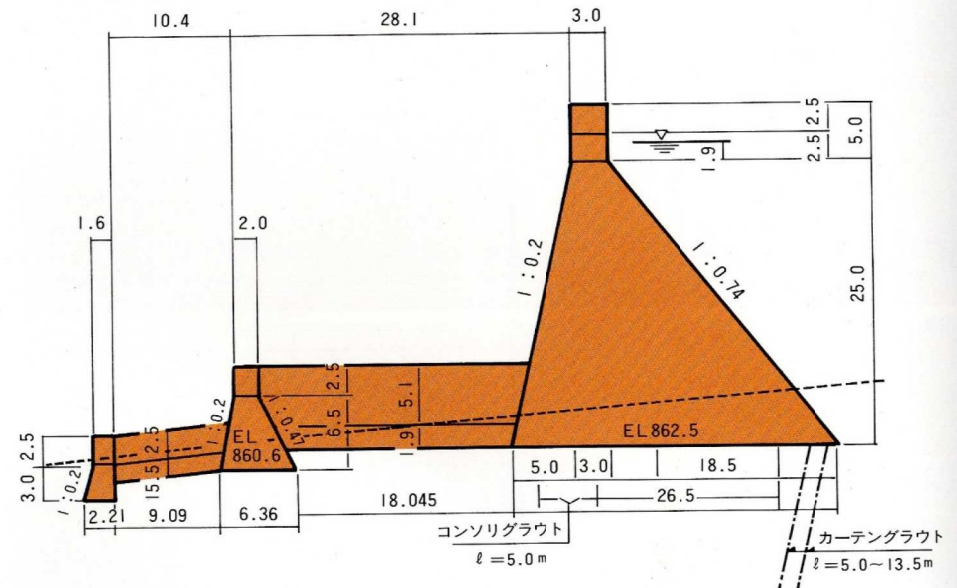
### 正面図

S 1/1000



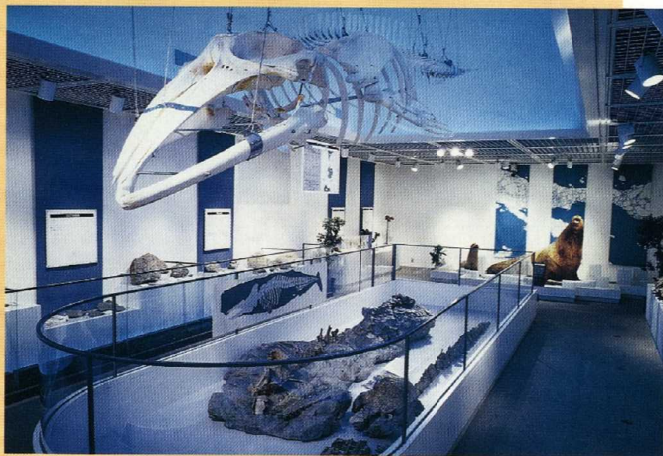
### 側面図

S 1/500

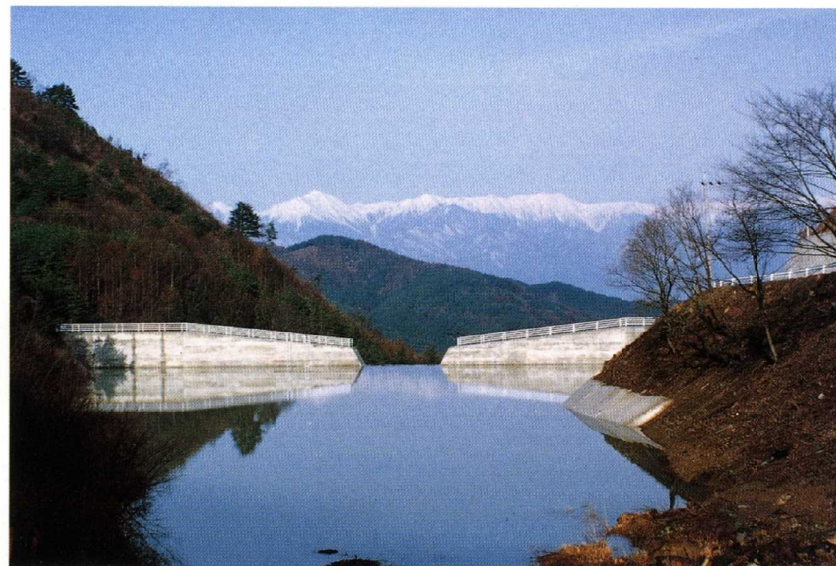


## 大沢砂防ダム概要

矢久川は東筑摩郡四賀村の御鷹山(標高1622.3m)、入山(標高1626.2m)の山々に源を発し、各々の山を流れる沢は縦横の浸蝕をしながら多量の土石を流下させ、既設ダムは満ぱいの状態である。又、この地域全体の土質は風化しやすい新第三紀層の砂岩及び泥岩で構成されており、そのうえ河川は急勾配の為、降雨の度に各所に崩壊・浸蝕を起こし土石流となって流下し、昭和34年には、集中豪雨により多大な被害をこうむっている。当ダムは、地域住民が永年待望したものであり、治山・治水及び水利用に大きな期待がよせられている。



大沢ダムの地も今から2000万年前は海底でした。  
ダム周辺の泥岩(別所層)からは貝化石がたくさん産出します。  
このクジラ全身骨格化石は別所層の保福寺川岩床から発見されました。  
世界で二例目のマッコウクジラ全身骨格化石です。(四賀村化石館)



ダム上流よりアルプスを望む



施工中 平成元年8月